

事業所名

るびなすスクール駒場

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

28 日

法人（事業所）理念	1 障害という既成概念をなくすこと 2 決められた教育よりも共育を 3 一人ひとりの個性を最大限引き出すこと（常にチャレンジ）		
支援方針	ひとりひとりに寄り添いながら、その子自身の強みを引き出し、自己肯定感が向上できるよう支援します		
営業時間	平日	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無
	休校日	8 時 30 分から 17 時 30 分まで	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	子どもたちが健康的で自立した生活を過ごすことができるよう、活動にメリハリをつけ、スモールステップで一緒に取り組みます ・手洗い、消毒、身だしなみチェックを行う ・部屋のレイアウトや掲示物での可視化、荷物管理や片付けがしやすいよう空間の構造化を図る ・「食」に対する意欲、関心を引き出す食育活動の実施	
	運動・感覚	感覚刺激を取り入れた手先の細かい作業や、遊び・レクリエーションで身体を動かして体幹を鍛えます。また、視覚・運動感覚の統合、協調運動の向上を図ります ・アイロンビーズ、スライム作りや工作レクの活動を通して手指の巧緻性の向上と感覚認知形成を図る ・理学療法士によるボディイメージを取り入れたレクを実施し、動作習得を図る ・外遊びや公園遊びを取り入れ、感覚統合や筋力維持を図る	
	認知・行動	認知の特性に合った遊びやレクリエーション(脳トレ・パズル・お金の計算等)を提供し、認知機能を高めます ・日々の生活の場面にに応じてソーシャルスキルトレーニングを行う ・駄菓子屋さん体験などの疑似体験、また実際に買い物体験に行くことで物の価値やお金の計算を学ぶ ・レクリエーションを通して楽しみながら想像力や認知機能を鍛える	
	言語 コミュニケーション	様々な機会を通じて、言語の発達に合わせたコミュニケーション能力を高めます ・あいさつや日常の会話を通して円滑なコミュニケーションを図る ・絵カード、身振り・手振り・ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図る ・一日の振り返りや気持ち、考えなどを発表する機会を作り、話す機会と聞く力を身に付ける	
	人間関係 社会性	社会性や円滑な人間関係の発達を促していく環境調整および関りを実施していきます ・ひとり遊びや集団遊び（カードゲーム・鬼ごっこ等）を通し、自己理解や他者理解を養う ・小グループでのレクリエーションや外出活動を通し、自己の役割を理解し、協調性を育む ・公共の場所や乗り物等を利用する機会を作り、交通ルールや公共のマナーに関する知識を養う	
家族支援	・送迎時等に学校や家庭での様子を共有する時間を設けます ・常に家庭との連携を取りながら、要望にお応えし、面談の場を設けます ・定期的な面談を通して、日頃の様子や課題について保護者と話し合い、子どもたちの成長を一緒に見守ります	移行支援	・保育所等訪問支援を活用し、学校や家庭、放課後等デイサービスと情報共有を行い、進学移行をスムーズにしていきます ・工場見学等を行い地域の産業や文化について触れることで、地域の課題や自分の役割を知る機会をつくります
地域支援・地域連携	・図書館や公園などの地域資源を活用します ・近隣のお店で買い物体験をおこない、地域の人との関わりをもちます	職員の質の向上	・勉強会や研修に参加し、職員が積極的に学べる場を整えています ・施設間で連携を取り、支援についての話し合いの場を設けます ・月1回、全職員対象の研修を行います ・ケース会議や支援のフィードバック等で情報共有を図り、支援の統一化を図ります
主な行事等	法人内合同行事：アート展、農福連携、事業所交流イベント等の実施 季節行事：お誕生日会、豆まき、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等の実施		